

ランチオンセミナー3

地域一体型NSTをめざして

座長 中 田 邦 也

最近、全国各地の多くの病院でNST（栄養サポートチーム）が稼働し、在宅医療でもPEG（胃ろう）による経管栄養も普及しつつある。しかしNSTの活動やPEGによる在宅医療での管理がまだまだ十分に認知されているとはいえない。

そこで地域の先生方に栄養管理の重要性、特にPEG管理の方法を実践の中で理解していくために、PEG患者さんのQOLの向上を目指しPEG地域連携パス（PEGパス）を天津市医師会病診連携推進委員会の協力を得て2008年12月に稼働した。このPEGパスは発行枚数が500件を超え、PEG協力施設は70施設となっている。このPEGパスに加え、使用の手引き、PEGアセスメントハンドブックをアイテムとし、在宅患者さんの栄養管理、PEG管理を実践している。

また滋賀県では新しい試みとして栄養セット検査を実施している。これは血液検査結果に加え、TLC（総リンパ球数：免疫機能の指標）、O-PNI（予後栄養指数）安静時基礎代謝量（BEE）、必要水分量をレポートしてくれるサービスである。このように地域一体型NSTの実現に向け積極的に取り組んでおられました。

会場が狭く多数の立ち見もあり混雑しましたが、熱心な討議、質問などもあり充実した時間を過ごし座長の任務を終えました。西山先生、ご協力していただいた方々、ご参加していただいた方々本当にありがとうございます。